



花虎ノ尾(はなとらのお)
花言葉…達成感・輝かしい実績など

北アメリカのバージニア州原産。大正時代に渡来。ピンクのちょっと変わった花。開花直前のつぶつぶがいい。マイナスイオンを出すことで知られる、「虎の尾」と呼ばれる植物はこれではなく、「サンセベリア」という、固く長い葉っぱの園芸植物。

花のお便り

2013.8 No.86

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
http : //www.miyazaki-p.co.jp/

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

7月に八ヶ岳の赤岳から硫黄岳まで縦走した時のことだが、高山植物の女王と言われる「コマクサ」が硫黄岳の山頂付近に咲いていた。それも広大な場所に大量に、しかも柵を作り保護された状態だった。保護する大変なことは分りますが、植物園ではないし、コマクサを苦勞して植えた山小屋のご主人には、申し訳ないが違和感がある。近頃はこのような環境の高山植物が各地に見られるが、複雑な気持ちだ。



冊子、自分史作成のすすめ

人の一生はある意味、波乱万丈が当たり前と言ってもいいのではないかと。世に生まれ出て息を引き取るまで、波風ひとつ立たない人生などあろう筈もありません。幼少期の親・兄弟・友人・先生・勉強・遊び。青年期の仕事・学業・恋愛・人生の葛藤。壮年期の仕事・子供・家庭・人生の転機。熟年期の趣味・旅行・病気など、ひとつひとつを切り取ると、昔の想いでが走馬灯のように浮かぶでしょう。短文でも長文でもかまいませんし、エッセイ風を書くのもよいでしょう。これまで書きとめた俳句・短歌・詩・川柳・写真集・絵画集など、様々なジャンルもあります。編集は弊社が責任をもって行いますのでどうぞご相談ください。



宣伝を考える(最終回) クロスメディア編

一年間以上にわたる連載も今回が最終回となりました。最後は様々な宣伝方法を重層的に行うクロスメディアです。たとえば、チラシを新聞に折り込む・ポスティングする。既存の顧客・見込み客にDMを発送する。電車の駅にポスターを掲示する。駅前でティッシュ入りのチラシを手渡す。受け手側からだと、朝刊で折込チラシを見て、駅でポスター、帰宅時にティッシュを受け取り、帰宅するとポストにチラシ・DMが入っている。数種類の宣伝物が短期間で複数以上が目に留まる仕掛けになります。

以上は比較的リーズナブルな方法ですが、宣伝費用は高額になるテレビなどを利用する例は、ジャパネットタカダのように、前日のテレビで明日の朝刊チラシをご覧くださいと呼びかける。同時にDMも発送されます。この例はスケールの違いこそありますが効果は相当なものと思像できます。リーズナブルな方法として脚光を浴びてきたのがARです。チラシ・ポスター・ショップカード・名刺などにコードを印刷、スマートフォンで写し画面に入ります。QRコードの発展型で、動画も見ることができます。チラシの訴求効果が弱まってきましたが、効果的な宣伝方法を考えながら未来志向で頑張りましょう。長期間のご購読に感謝いたします。

気まぐれエッセイ 焼酎一杯グイー

60歳を過ぎて再度山登りを始めて8年が経過した。今は山登りのクラブで、老若男女に囲まれ、月一回の山行を行っている。最近そのクラブに高山植物や野鳥に知識が深い人が2人同時に入会した。私は若い頃はガンガン山に登るのみでしたが、この歳になり山の草花にも興味を持てるようになり、ある程度花の名前も知るようになったが、レベルが違う。その人は花の名前からその由来について淀みなく答えてくれる。6月の石楠花の咲く御座山で

面白い鳴き方の鳥を教えてもらったので披露する。その人が突然あれは「センダイムシクイ」の鳴き声と言って「焼酎一杯グイー」と聞こえないですかと尋ねてくる。空耳アワーではないが、そう言われればそんな鳴き声に聞こえる。それにしても飲んべーな鳥だ。このように鳥の名前も面白く覚えればいいのだが、花と言わず鳥と言わず、次から次へと耳慣れない名前がでてきて、この歳で覚えるのは一苦勞だ。